

平成29年度 十勝農試 定期作況報告 小豆

月	作況	事由
6月20日	やや不良	播種期は平年並の5月24日であった。6月上旬以降やや低温に経過し、出芽揃いは良好であったが、出芽期は平年より2～3日遅れた。主茎長及び本葉数は平年をやや下回っている。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
7月20日	平年並	7月上旬以降かなり高温に経過したことから、開花始は早生の「きたろまん」で平年より3日早かった。主茎長及び分枝数は平年をやや下回っているものの、本葉数は平年並に回復している。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
8月20日	やや不良	開花始は「エリモショウズ」で平年並、「アカネダイナゴン」で平年より1日早かった。本葉数は平年並であるが、8月上旬から低温寡照に経過したことから、現時点では分枝数及び着莢数は平年を下回っている。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
9月20日	平年並	成熟期は、早生の「きたろまん」で平年より5日遅かった。主茎長、分枝数及び着莢数は平年を下回ったものの、8月以降低温傾向であったことから登熟の進みが遅く、百粒重は平年を上回ることが予想される。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
10月20日	良	成熟期は平年より5～7日遅かった。いずれの品種も着莢数は平年を下回ったが、一莢内粒数及び百粒重は平年を上回った。子実重の平年比は、「アカネダイナゴン」では特に着莢数の少なさが影響し平年並となったが、普通小豆では111～116%と多収であった。 以上のことから、現在の作況は良である。
11月20日	良	播種期は平年並であった。6月上旬～中旬の低温により、出芽期は平年より2～3日遅く、初期生育は停滞した。7月上旬～中旬はかなり高温に経過したことから、生育の遅れを取り戻し、開花始は平年並から3日早かったが、花芽分化期に高温に遭遇した初期の花の落花が目立った。開花盛期である8月上旬～中旬は低温寡照に経過したことから、着莢数は平年より少なかった。また、9月以降日照は平年並からやや多かったが、気温はやや低かったことから、登熟期間は平年に比べ長くなり、成熟期は平年より5～7日遅かった。一莢内粒数及び百粒重は平年を上回ったことから、子実重の平年比は、「アカネダイナゴン」では特に着莢数の少なさが影響し平年並となったが、普通小豆では111～116%と多収であった。層粒率は平年並からやや低く、検査等級は平年並であった。 以上のことから、本年の作況は良である。

生育データ

項目/年次	きたろまん			エリモショウズ			アカネダイナゴン			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
播種期(月日)	5.24	5.24	0	5.24	5.24	0	5.24	5.24	0	
出芽期(月日)	6.10	6.7	3	6.9	6.7	2	6.10	6.7	3	
開花始(月日)	7.19	7.22	△ 3	7.22	7.22	0	7.23	7.24	△ 1	
成熟期(月日)	9.17	9.12	5	9.20	9.14	6	9.27	9.20	7	
主茎長 (cm)	6月20日	3.4	4.5	△ 1.1	3.7	5.2	△ 1.5	4.3	5.3	△ 1.0
	7月20日	19.1	25.0	△ 5.9	19.9	26.2	△ 6.3	19.7	23.7	△ 4.0
	8月20日	70.9	77.7	△ 6.8	72.0	79.5	△ 7.5	75.5	88.5	△ 13.0
	9月20日	73.9	87.8	△ 13.9	77.5	86.4	△ 8.9	86.2	102.0	△ 15.8
	成熟期	73.9	88.2	△ 14.3	77.5	86.4	△ 8.9	86.2	102.8	△ 16.6
本葉数 (枚)	6月20日	0.6	0.9	△ 0.3	0.5	0.9	△ 0.4	0.7	0.9	△ 0.2
	7月20日	7.8	7.5	0.3	8.1	7.8	0.3	8.3	8.0	0.3
	8月20日	12.6	12.9	△ 0.3	14.3	13.9	0.4	15.4	15.8	△ 0.4
主茎節数 (節)	9月20日	15.8	13.8	2.0	17.2	14.5	2.7	18.8	16.7	2.1
	成熟期	15.8	13.8	2.0	17.2	14.5	2.7	18.8	16.6	2.2
分枝数 (本/株)	7月20日	3.3	3.8	△ 0.5	2.6	3.8	△ 1.2	3.5	3.9	△ 0.4
	8月20日	3.1	4.1	△ 1.0	2.7	4.6	△ 1.9	3.7	5.3	△ 1.6
	9月20日	3.1	3.4	△ 0.3	2.7	3.9	△ 1.2	2.7	4.9	△ 2.2
	成熟期	3.1	3.5	△ 0.4	2.7	3.9	△ 1.2	2.7	4.9	△ 2.2
着莢数 (莢/株)	8月20日	46.9	69.9	△ 23.0	46.9	75.4	△ 28.5	34.6	71.7	△ 37.1
	9月20日	49.5	54.2	△ 4.7	51.1	60.9	△ 9.8	54.4	72.0	△ 17.6
	成熟期	49.5	54.0	△ 4.5	51.1	60.9	△ 9.8	54.4	71.2	△ 16.8
一莢内粒数(粒)	6.76	6.06	0.70	6.53	5.89	0.64	4.59	3.97	0.62	
総重(kg/10a)	646	631	15	655	677	△ 22	645	623	22	
子実重(kg/10a)	412	371	41	403	347	56	355	351	4	
百粒重(g)	15.7	15.2	0.5	14.8	13.1	1.7	19.3	17.1	2.2	
層粒率(%)	4.4	4.6	△ 0.2	3.5	7.0	△ 3.5	7.6	7.4	0.2	
品質(検査等級)	3下	3中	-	3中	3中	-	4上	4中	-	
子実重対平年比(%)	111	100	11	116	100	16	101	100	1	

- 備考 1) 平年値は、前7か年中、平成27年(豊作年)及び22年(凶作年)を除く5年平均である。
 2) △は平年と比較して「早」、「少」、「短」、「軽」、「低」を表す。
 3) 着莢数は、8月20日現在は莢長3cm以上、9月20日現在及び成熟期は稔実莢を示す。
 4) 品質(検査等級)は旧農産物規格規定(一般小豆の規格その1(素俵))に準ずるものである。

耕種概要

一区面積 (㎡)	区制	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	1株本数	株数 (株/10a)	播種日 (月日)
12.0	3	クリムソクローバー	60	20	2	8,333	5.24
施肥量 (kg/10a)							
N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥	その他		
4	20	11.2	4	なし	なし		